

平成21年度長岡京市事務事業点検(事業仕分け)結果

班 別	第2班	時 間	10:10～10:50
事業番号	12	所管部署名	学校教育課
事業名	国際理解教育推進事業		
事業仕分け結果	不要		
内 訳	(1)不要	3人(コーディネーター裁定)	
	(2)国及び府実施	-	
	(3)市実施 現行通り	-	
	(4)市実施 内容・規模見直し	2人	
	(5)市実施 民間委託	-	
	(6)民営化(NPO、地域団体含む)	1人	
<p>【「不要」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業によって得られる成果が不明確である。廃止した場合の影響も小さく、優先度は高くない。</li> <li>・この事業と在住外国人との交流施策との関係が希薄である。</li> <li>・受益者が限定されている。効果が低い。</li> <li>・国際理解が目的であれば、手法は他にもある。</li> <li>・海外訪問は自己負担が原則である。行政としては民間旅行事業者のあっせんなど、コーディネートのみでよい。</li> </ul> <p>【「市実施 内容・規模見直し」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育推進協議会の位置づけの明確化を図るべきである。</li> <li>・生徒が学習したことを効果的に活用し、市民に対して啓発することが必要。</li> <li>・公平性・受益者負担・費用対効果の観点から、見直しが必要である。</li> <li>・国際理解については、メディアを使った多様な手法があるため、本質論を整理し、展開していくべきである。</li> </ul> <p>【「民営化(NPO、地域団体含む)」とした委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たり高額の市税を投入して実施しなくてもよい。観光に近く、民間でも実施できる。</li> <li>・対象となった生徒が具体的にどのように育成されるか不明である。</li> <li>・市は事業主体ではなく、後援、推薦とすべき。</li> </ul>			

※今後この事業をどうしていくかは、仕分け結果と仕分け委員からいただいた意見を考慮したうえで、市としての最終的な判断を行います。